




1-9 主な部品の交換方法

日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。

以下の「1-9 消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

 **警告** 消耗部品の交換やメンテナンスの時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜いてから行ってください。プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。

 **警告** 取扱説明書に記載されている「消耗部品の交換方法」以外の間違った方法で交換すると機械が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります。

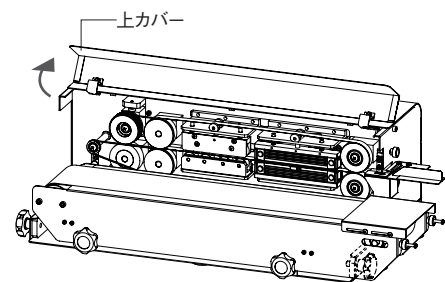
 **警告** 消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。



必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください

部品交換の準備

以下で説明する主な部品の交換作業をされる時は、作業前に製品の上カバーを上へ上げてから行ってください。




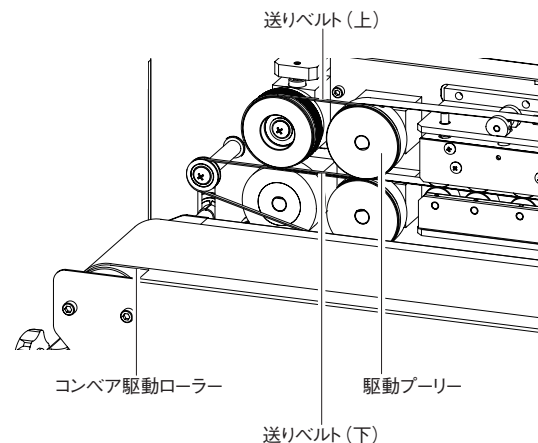
1-9-1 送りベルト上・下の交換

■ コンベア駆動ローラーを手で回すと駆動プーリーが回転します。

駆動プーリーを回転させながら、送りベルトを外側に引くようにすると送りベルトが外れます。

■ 取り付ける際もコンベア駆動ローラーを手で回しながら駆動プーリーに送りベルトを取り付けてください。

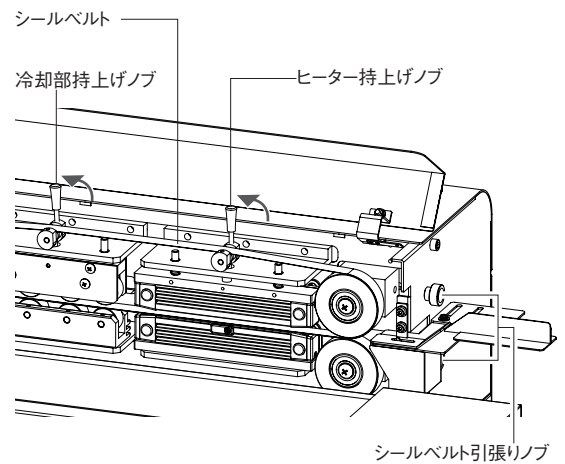
 **注意** ローラーに指を巻き込まれないように注意して作業を行ってください。



1-9-2 シールベルトの交換

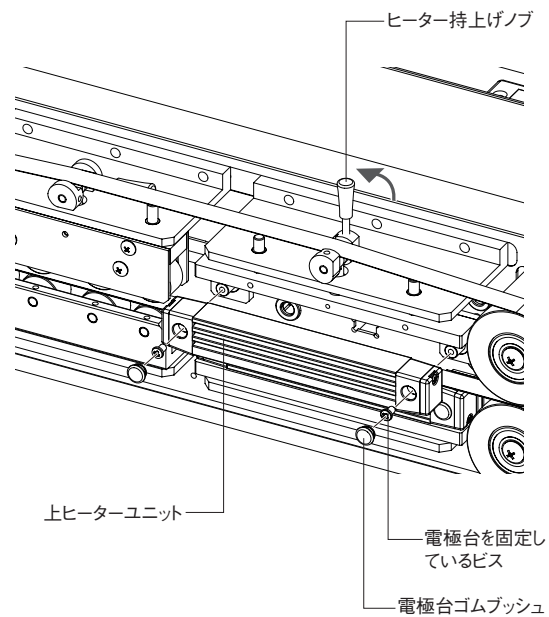
- 1 「1-9-1 送りベルト上・下の交換」の手順で送りベルト上・下を外してください。
- 2 シールベルト引張りノブを左へ回し、シールベルトを緩めてください。
- 3 ヒーター持上げノブ、冷却部持上げノブを起こしてください。
- 4 シールベルトを外してください
- 5 新しいシールベルトを付けてください。
- 6 シールベルトが滑らないところまで上下のシールベルト引張りノブを右へ回してください。
- 7 3で起こしたヒーター持上げノブ、冷却部持上げノブを倒してください。
- 8 送りベルト上・下を取り付けてください。

注！ シールベルトを引っ張りすぎるとシールベルト切れの原因になります。



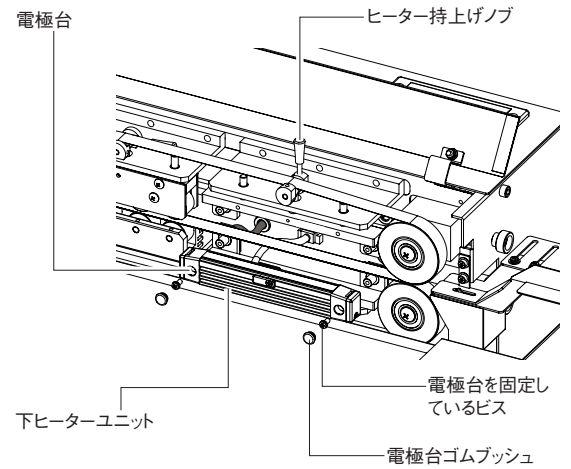
1-9-3 上ヒーターユニットの交換

- 1 ヒーター持上げノブを起こし、上ヒーターユニットを上げてください。
- 2 電極台ゴムブッシュを外してください。
- 3 プラスドライバーで電極台を固定しているビスを外してください。
- 4 上ヒーターユニットを手前に引き出して、外してください。
- 5 新しいヒーターユニットを取付け、3で外した電極台を固定しているビスを締めてください。
- 6 2で取り外した電極台ゴムブッシュを付けてください。
- 7 1で起こしたヒーター持上げノブを元の位置まで倒してください。

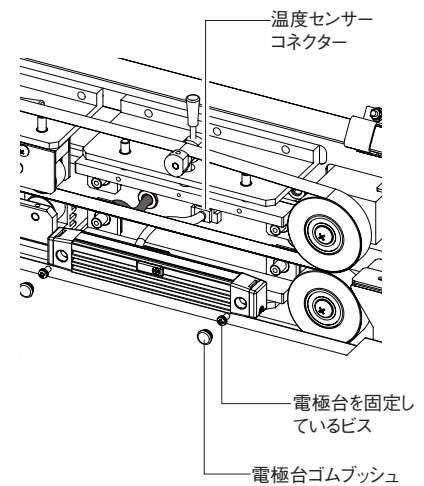


1-9-4 下ヒーターユニットの交換

- 1 「1-9-3 上ヒーターユニットの交換」の手順で上ヒーターユニットを外してください。(下ヒーターユニットを交換する時は、上ヒーターユニットを取り外す必要があります)
- 2 下ヒーターユニットの電極台ゴムブッシュを外し、電極を固定しているビスを外してください。



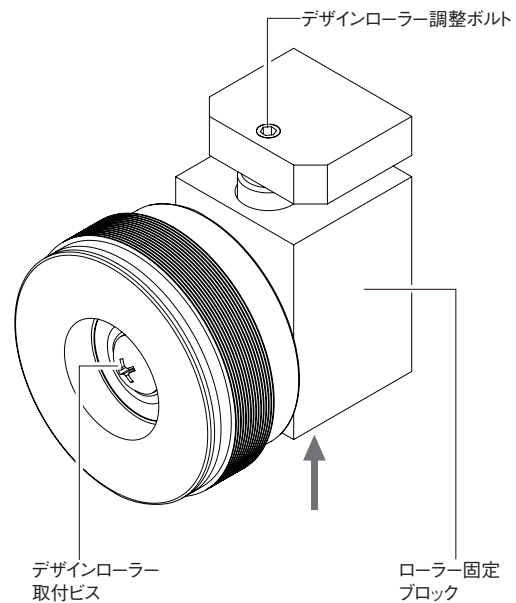
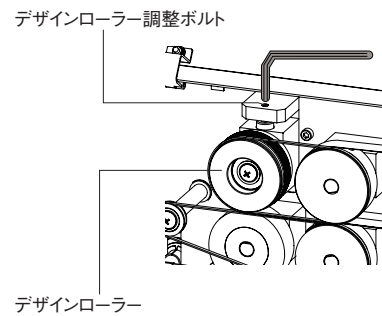
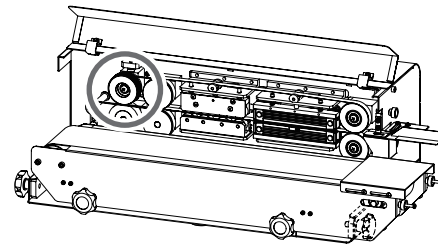
- 3 下ヒーターユニットを手前に引き出して、外してください。
- 4 温度センサーのコネクターを外します。
- 5 新しい下ヒーターユニットの温度センサーのコネクターを装着してください。
- 6 下ヒーターユニットを取付け、2で外した電極を固定しているビスを締めます。
- 7 2で取り外した電極台ゴムブッシュを付けてください。
- 8 「1-9-3 上ヒーターユニットの交換」の手順で上ヒーターユニットを取り付けてください。



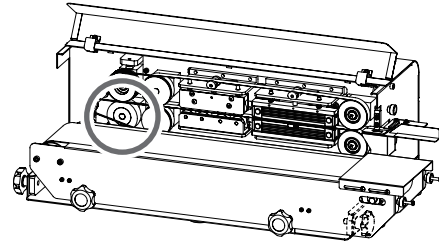
1-9-5 デザインローラーの交換

- 1 「1-9-1 送りベルト上・下の交換」をご覧ください、送りベルト(上)を外してください。
- 2 六角レンチでデザインローラー調整ボルトを緩めてください。
- 3 デザインローラー取付ビスを外し、デザインローラーを外してください。
- 4 ローラー固定ブロックを少し持ち上げて、交換するデザインローラーを取付けてください。
- 5 デザインローラー取付ビスを締めて固定してください。
- 6 1で外した送りベルト(上)を付けてください。
- 7 2で緩めたデザインローラー調整ボルトを六角レンチで締めてください。

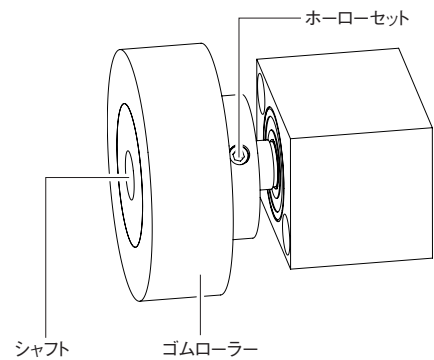
注! デザインローラーを交換した場合、デザインローラーの圧力調整をする必要がありますので「1-10-4 デザインローラーの調整」をご覧ください、調整を行ってください。



1-9-6 ゴムローラーの交換



- 1 「1-9-1 送りベルト上・下の交換」をご覧ください
送りベルト（下）を外します。
- 2 デザインローラー調整ボルトを緩めてください。
（「1-9-5 デザインローラーの交換」を参照してください）
- 3 コンベア前後調整ノブを緩めて、コンベア台を
少し手前に移動させてください。（「1-10-1-2 コ
ンベア前後の調整」を参照してください）
- 4 ゴムローラーの取付ホーローセットを緩めて、デ
ザインローラーの固定ブロックを少し持ち上げな
がらゴムローラーを外してください。
- 5 デザインローラーの固定ブロックを少し持ち上げ
ながら新しいゴムローラーをシャフトに差し入れ
て、4で緩めたホーローセットを締めてください。
- 6 1で外した送りベルト（下）を付けてください。
- 7 2で緩めたデザインローラー調整ボルトを「1-10-
4 デザインローラーの調整」をご覧ください、六
角レンチで締めてください。

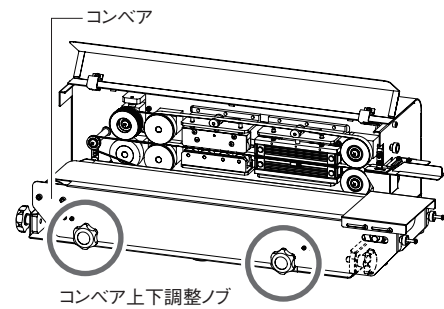


1-10 各部の調整方法

1-10-1 コンベアの位置調整

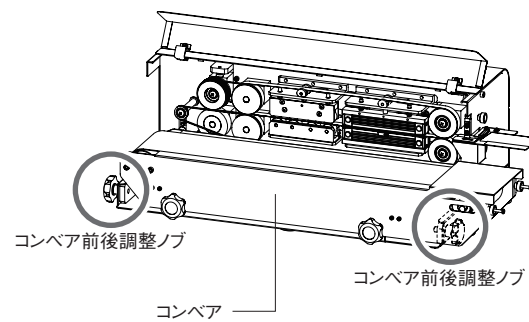
■ 1-10-1-1 コンベア上下の調整

- 1 コンベア上下調整ノブを回し、上下を調整します。
- 2 ノブを緩めると上にあがってきます。
- 3 ご希望の高さに調整します。
- 4 調整後はノブを締めて固定します。



■ 1-10-1-2 コンベア前後の調整

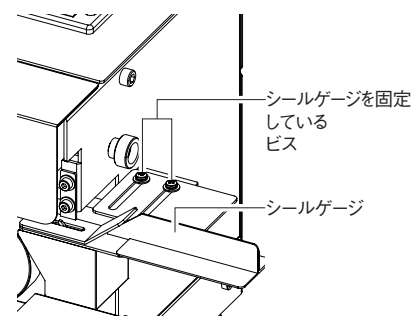
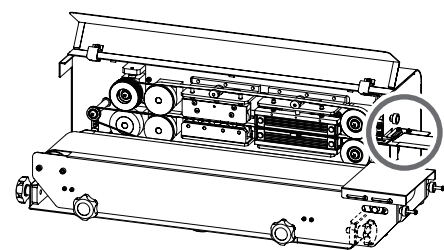
- 1 コンベアを上に出ると作業が容易になります。「1-10-1-1 コンベア上下位置の調整」をご覧ください、コンベアを上に出てください
- 2 コンベア前後調整ノブを緩め、コンベア台をご希望の前後位置に調整します。
- 3 調整後はノブを締めて固定します。
- 4 1で上に出たコンベアの上下位置を調整してください。



1-10-2 シールゲージの調整

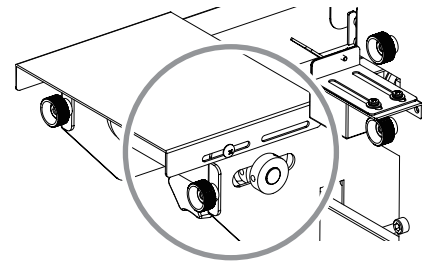
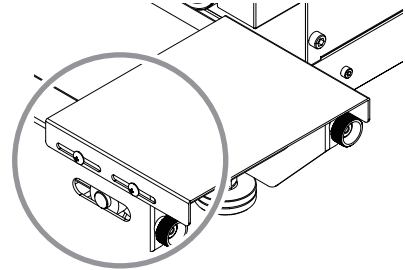
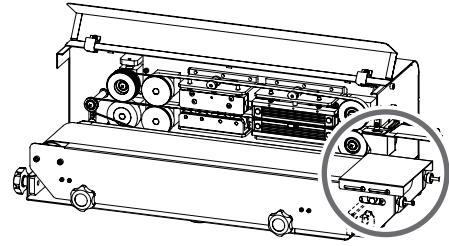
袋端からシールラインまでの距離の調整はシールゲージの位置で調整することができます。

- 1 シールゲージを固定しているビス2本を緩めます。
- 2 シールゲージをご希望の位置にスライドさせ、調整します。
- 3 1で緩めたビスを締めてシールゲージを固定します。



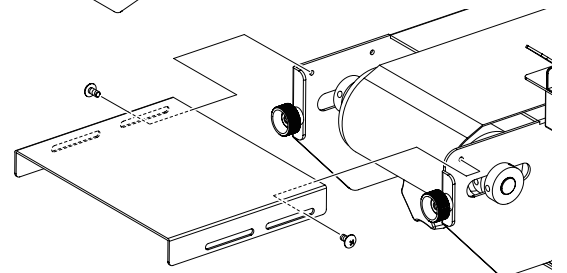
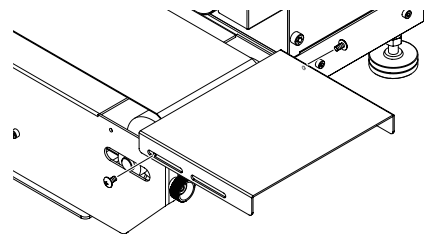
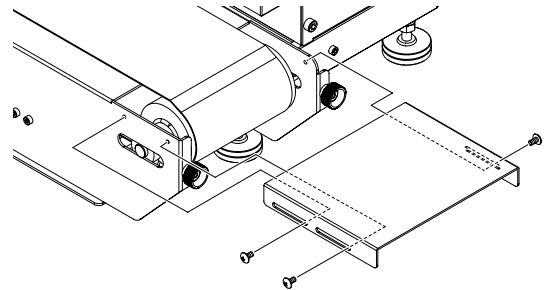
1-10-3 作業テーブルの位置調整

- 1 作業テーブルを固定しているビス3カ所を緩めます。
- 2 作業テーブルをご希望の位置にスライドさせ、調整します。
- 3 1で緩めた3本のビスを締めて作業テーブルを固定します。

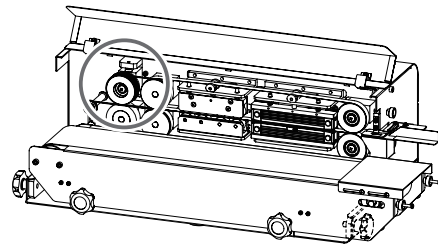


もっと、外側に位置を大きく変えたい場合

- 1 作業テーブルを固定しているビス3カ所を緩めて取り外します。
- 2 作業テーブルをご希望の位置にスライドさせ、調整します。
- 3 1で緩めた3本のビスの内、右イラストの2本だけを取り付けて締め、作業テーブルを固定します。



1-10-4 デザインローラーの調整

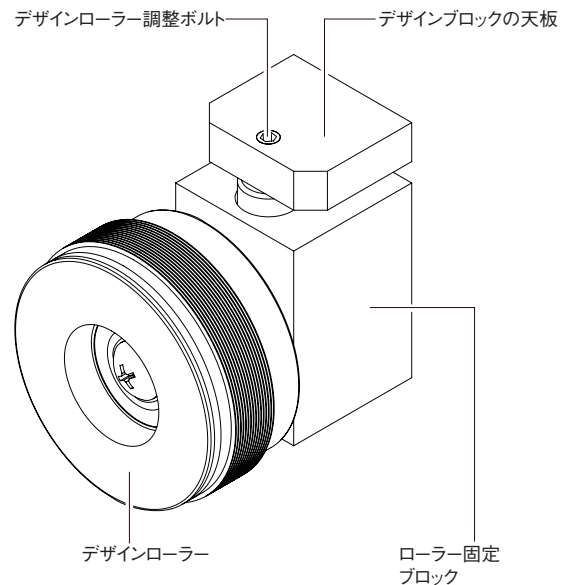


デザインローラーを交換した際にデザインローラーの圧力調整を行う必要があります。

デザインローラー調整ボルトを六角レンチで回して、デザインローラー調整ボルトとデザインブロック天板の上面が同一の高さになる状態を基準とし、±約 2mm の範囲内でデザインローラー調整ボルトの高さを調整してください。

- デザインローラー調整ボルトを締めるとデザインローラーのシール模様の現れ方が強くなります。
- デザインローラー調整ボルトをゆるめるとシール模様の現れ方が弱くなります。

注! デザインローラー調整ボルトを締め込み過ぎるとベルト速度に悪影響を及ぼす可能性がありますので、前述の範囲内での調整を行ってください。



1-10-5 シールベルトの引っ張り強度の調整

シールベルトが滑ってきた場合は、シールベルトの引っ張り強度の調整を行ってください。

シールベルト引っ張りノブをシールベルトの滑りが無くなるまで上下のノブを交互に ¼ 回転ずつ右に回してください。

注! シールベルトを引っ張りすぎるとシールベルト切れの原因になります。

